

第16回（令和5年度） 千葉県コミュニティソーシャルワーカー育成研修（専門研修） 開催要項

1 開催目的

コミュニティソーシャルワークとは、個人の自立生活支援を丁寧に担いながら、「生活基盤の整備に向けた地域資源の開拓や創設」、「社会関係の調整と改善に向けた啓発・教育活動」、「福祉計画づくり」、「福祉サービス利用者や広範な市民の組織化」、「地域における総合的なサポートシステムの構築」などを主な柱とした、個別支援を通じた地域づくりを展開するソーシャルワーク実践の統合的な方法です。

少子高齢化や社会的孤立・貧困を背景として、様々な生活課題が顕在化している一方で、社会生活上の脆弱性を有している人の支援ニーズが潜在化している今日、改めてコミュニティソーシャルワークの手法が注目を集めています。「地域共生社会の実現」を目指し、住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりと、多機関が協働して包括的・総合的に相談支援を行う体制の確立が急務となっています。こうした新しい取組みにおいて求められているのも要援護者に対する個別支援だけでなく、地域が主体的に動けるようになる地域支援を一体的に行うことであり、コミュニティソーシャルワークの手法は、それを実現させていくために習得すべき技術といえます。

本研修会は、千葉県の地域福祉や要援護者の自立生活支援を担う専門職がコミュニティソーシャルワークの手法を学び、必要な知識、技術を身につけることを目的に開催します。

2 主催

千葉県、社会福祉法人千葉県社会福祉協議会

3 日時

- | | | | | |
|-----|------|-----|--------|--------------------|
| 1日目 | 令和5年 | 9月 | 7日（木） | 午前9時30分～午後4時30分 |
| 2日目 | 令和5年 | 9月 | 16日（土） | ※時間は5日間とも上記のとおり |
| 3日目 | 令和5年 | 9月 | 17日（日） | |
| 4日目 | 令和5年 | 12月 | 2日（土） | |
| 5日目 | 令和5年 | 12月 | 3日（日） | ※最終日は終了後に閉講式15分程度有 |

4 会場

- | | | | | |
|-------|---------------|--------|----------|-----------------|
| 1日目 | 目：ホテルポートプラザちば | 2階 | ロイヤル | |
| | 千葉市中央区千葉港 | 8-5 | | 電話：043-247-7211 |
| 2～5日目 | 目：ペリエ7階 | ペリエホール | Room A・B | |
| | 千葉県千葉市中央区新千葉 | 一丁目 | 1-1 | 電話：043-445-8300 |

5 プログラム

開催プログラム（別添）のとおり

6 募集人数・受講対象者

定員60名（定員を超えた場合は抽選により決定します。先着順ではありません）

<受講対象者>

- | | |
|--------------------|------------------------|
| (1) 市町村社会福祉協議会職員 | (7) 子育て支援センター職員 |
| (2) 地域包括支援センター職員 | (8) 生活困窮者自立支援事業従事者 |
| (3) 中核地域生活支援センター職員 | (9) 生活支援コーディネーター |
| (4) 介護サービス事業所職員 | (10) 障害者相談支援事業所職員 |
| (5) 障害者福祉サービス事業所職員 | (11) その他地域福祉活動を担当する職員等 |
| (6) 市町村地域福祉担当職員 | |

<受講条件>

- (1) 5日間の全日程に出席すること。
- (2) 業務と並行して受講することについて所属長の承認が得られること。
- (3) 研修期間中、プログラム3日目終了後から4日目・5日目までの間に事前課題（事例ワークシート）の提出を依頼するため、この事例ワークシートを指定された期日までに提出すること。
- (4) 研修修了年度以降に実施する「フォローアップ研修」に参加する意思を有すること。

7 受講料（資料代）

8,000円 ※前年度までに研修を受講している方で未修了の場合は1,500円

8 申込み方法・期限

- (1) 千葉県社会福祉協議会ホームページ (<http://www.chibakenshakyō.com/>) 内の「県社協からのお知らせ」に掲載された「コミュニティソーシャルワーカー育成研修」記事内にある Google フォームよりお申込みください。

※1名ずつ応募フォームよりお申込みください。

※応募フォームから受付した旨のメールが自動返信されますが、メールが届かない場合は下記問い合わせ先までご連絡ください。

- (2) 申込期限：令和5年7月21日（金）

9 受講者の決定について

- (1) 定員60名を超えた場合は抽選を行い、受講者を決定します。また辞退者が出た場合の補欠当選者も抽選時に決定します。
- (2) 受講者の決定（抽選結果）については、令和5年7月28日（金）を目途に応募フォームで登録されたメールアドレスへ送信します。
- (3) 受講決定者には「受講券」及び「受講料（資料代）請求書」を郵送しますので、指定口座へ指定期日までにお振込みください（現金持参は不可）。
- (4) 辞退者が出た場合、補欠当選番号の上位の方から順に繰上げ当選としてご連絡いたします。なお、繰上げ当選の連絡は令和5年8月31日（木）までとします。

<受講決定後のキャンセルについて>

- ・受講決定後に受講をキャンセルされる方は速やかに本会までご連絡をお願いします。
- ・受講料（資料代）を振り込んだ後に受講を取りやめる場合、理由の如何を問わず返金はいたしません。この場合、5日間のプログラムが終了した後、講義資料として配付した書籍・資料を一括してお送りすることで受講料に替えさせていただきますのでご了承ください。

10 研修の修了について

- (1) 「研修受講カード」（1日目に配付）により各日の出席確認を行い、5日間の全日程の出席・履修（課題提出を含む）をもって修了者と認定します。修了者には5日目の閉講式で「修了証書」を発行するとともに、後日「修了カード」を発行します。
- (2) 5日間のうち、やむを得ず1日でも欠席した場合は未修了となります。なお、初めて研修を受講した年度から5年間の間に欠席した課程を履修することで修了者と認定します。ただし、2・3日目、4・5日目はそれぞれ2日間の連続プログラムとなっているため、再受講する場合にはあらためて連続プログラムの両日を履修することを修了の条件とします。
- (3) 社会福祉協議会在籍の修了者については、千葉社協職員連絡協議会が発行する「千葉県市町村社会福祉協議会 役員・職員名簿」に受講修了した旨を記載します。

11 個人情報の保護について

本研修の受講申込を通じて取得した個人情報については、千葉県社会福祉協議会が定める「個人情報に関する方針（プライバシーポリシー）」に基づき取り扱うこととし、本研修の運営に関する業務以外の目的には使用しません。

12 その他

障害等、参加に際し留意すべき事項がある場合には、応募フォームの備考欄にその旨を記載するか、下記問い合わせ先までお申し出ください。

13 問い合わせ先

社会福祉法人千葉県社会福祉協議会
地域福祉推進部 地域福祉推進班（CSW担当）
〒260-8508 千葉市中央区千葉港4-5
電話 043-245-1102 F A X 043-244-5201
E-mail chiiki@chibakenshakyō.com

第16回（令和5年度）
千葉県コミュニティソーシャルワーカー育成研修（専門研修）
開催プログラム

※各講義・演習に途中休憩あり

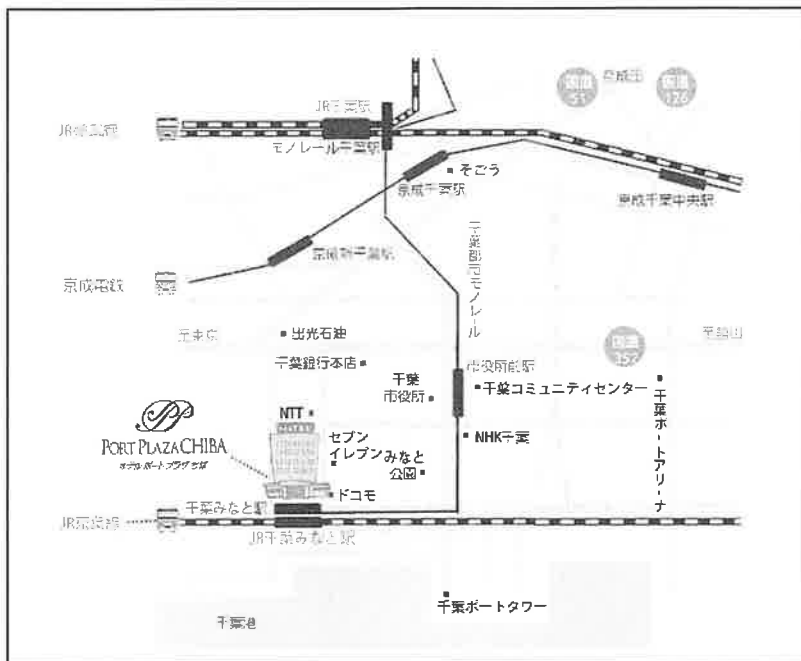
日 時	研 修 科 目	研 修 内 容	講 師 等	
1 日 目 9/7 (木)	9:00 ～9:30	【受 付】	—	
	9:30 ～9:35	【開講・事務連絡】	—	
	9:35 ～10:30	【講 義①】 「地域共生社会におけるコミュニティソーシャルワーカーの役割について」	コミュニティソーシャルワーカーの必要性、専門職としての役割や意義等について学ぶ。	<講師> 東洋大学 福祉社会デザイン学部 社会福祉学科 教授 加山 弾 氏
	10:40 ～12:10	【講 義②】 「ヴァルネラビリティのある人の特性とアウトリーチの必要性について」		
	12:10 ～13:10	【昼食休憩】		
	13:10 ～15:00	【実践報告】 「ヴァルネラビリティのある人への相談支援」 ※ヴァルネラビリティのある人 自立生活を送るうえで何らかの支援を必要としながらも、「世間を憚って発信しない」、また「自らがおかれている状況が社会的に『逸脱』した状態である」という認識を持っていない」といった社会生活上の脆弱性を有している人。	実践報告からヴァルネラビリティのある人の相談支援のあり方について学び理解を深めることでコミュニティソーシャルワークに必要な視点を学ぶ。	<講師・コーディネーター> 東洋大学 福祉社会デザイン学部 社会福祉学科 教授 加山 弾 氏 <実践報告者> 習志野市生活相談支援センター らいふあっぷ習志野 所長 水野 郁子 氏 就労準備支援責任者・相談員 及川 恵 氏
	15:00 ～16:30	【ワールドカフェ】	実践報告をもとにディスカッションを行い、コミュニティソーシャルワークについての理解を深める。	社会福祉法人ウィズ 理事長／民堵 主任相談支援専門員 三好 恵里子 氏

日 時	研 修 科 目	研 修 内 容	講 師 等	
2 日目 9/16 (土)	9:00 ~9:30	【受 付】	—	
	9:30 ~9:35	【事務連絡】	—	
	9:35 ~10:40	【プログラム①】 「家族の機能(はたらき)から考 える自らの実践特性」	講義・演習を通して、自らの 実践特性を理解し、コミュニ ティソーシャルワークの視点 や技法について学ぶ。	<講師> 作新学院大学 女子短期大学部 幼児教育科 教授 坪井 真 氏
	10:50 ~12:00	【プログラム②】 「レジリエンスの概念から考 える自らの実践特性」		
	12:00 ~13:00	【昼食休憩】		
	13:00 ~14:00	【プログラム③】 「ストレングスを基盤とした アセスメントモデルから考 える自らの実践特性」	自己覚知を通して自身の専門 性を確認するとともに、支援 に必要な情報を整理、共有し 理解を深める。	
14:10 ~16:30	【プログラム④】 「事例に基づくロールプレイ」			
3 日目 9/17 (日)	9:00 ~9:30	【受 付】	—	
	9:30 ~9:35	【事務連絡】	—	
	9:35 ~12:00	【プログラム①】 事例検討(1) 「家庭訪問時の相談援助」	演習(事例検討)を通して、 個別アセスメント・地域アセ スメントの前提となる相談援 助を体験的に学ぶ。	<講師> 作新学院大学 女子短期大学部 幼児教育科 教授 坪井 真 氏
	12:00 ~13:00	【昼食休憩】		
	13:00 ~16:00	【プログラム②】 事例検討(2) 「個別アセスメントと地域ア セスメントの検討」	コミュニティソーシャルワー クにおける、個別アセスメン ト・地域アセスメントの特徴 を学び、理解を深める。	
	16:00 ~16:30	【プログラム③】 演習の振り返りとまとめ	演習(事例検討)における学 びを振り返る。	

日 時		研 修 科 目	研 修 内 容	講 師 等
4 日 目 12/2 (土)	9:00 ～9:30	【受 付】	—	—
	9:30 ～9:35	【事務連絡】	—	—
	9:35 ～10:30	【講 義】 「コミュニティソーシャル ワークの視点と方法」	地域生活支援における制度的 課題を知りコミュニティソー シャルワークの具体的なプロ セスやプランニング等につい て学ぶ。	<講師> 日本社会事業大学 社会福祉学部 福祉計画学科 教授 菱沼 幹男 氏
	10:40 ～12:00	【講 義・演 習】 「コミュニティソーシャル ワークにおける個別アセス メントと個別支援」	共通事例をもとに、個別アセ スメントと個別支援、地域ア セスメントと地域支援につい て実践的に学ぶ。	
	12:00 ～13:00	【昼食休憩】		
	13:00 ～16:00	【講 義・演 習】 「コミュニティソーシャルワ ークにおける地域アセスマ ントと地域支援」		
16:00 ～16:30	【講 義】 まとめ			
5 日 目 12/3 (日)	9:00 ～9:30	【受 付】	—	—
	9:30 ～9:35	【事務連絡】	—	—
	9:35 ～16:00	【事例研究】 「グループコンサルテーショ ン」 (昼食休憩 1 時間)	参加者各自から提出された実 践事例（必須）をもとにコミ ュニティソーシャルワークの 具体的な展開方法や課題への 対応方法について学ぶ。	<講師> 日本社会事業大学 社会福祉学部 福祉計画学科 教授 菱沼 幹男 氏
	16:00 ～16:30	【講 義】 まとめ		
	16:30 ～16:45	【閉講式】	—	

【会場アクセス】

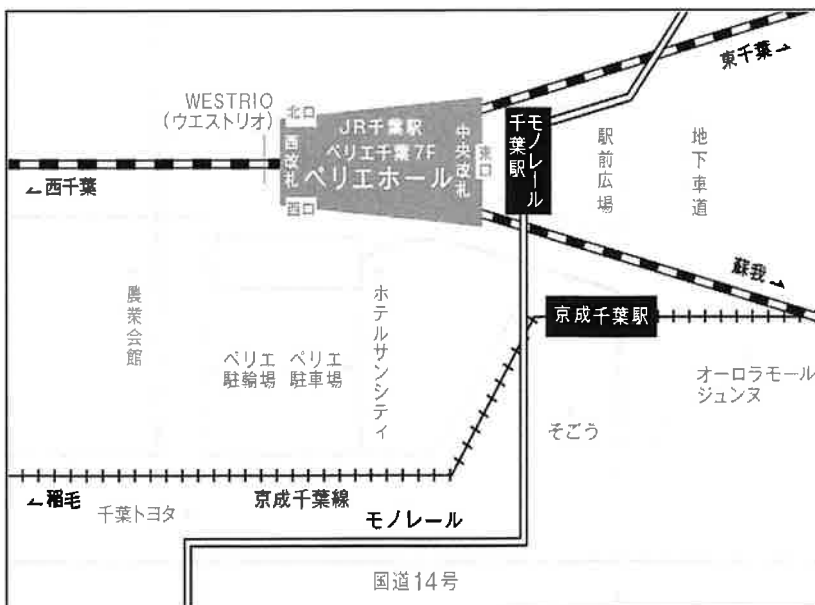
<1日目 ホテルポートプラザちば>



- JR 京葉線「千葉みなと駅」より徒歩 1分
- 千葉都市モノレール「千葉みなと駅」より徒歩 1分
- 京成電鉄「新千葉駅」より徒歩 10分
- JR 総武線「千葉駅」よりタクシー又はモノレールにて 5分

ホテルポートプラザちばホームページより抜粋

<2～5日目 ペリエホール>



- JR「千葉駅」東口より徒歩 0分
- 京成線「京成千葉駅」より徒歩 1分
- モノレール「千葉駅」より徒歩 1分

ペリエホールホームページより抜粋